

# 西部公民館だより

発行 西部公民館  
神ノ郷町吉町田12-1  
TEL:68-7233

## 謹 賀 新 年



### 新年のご挨拶



公民館館長 小林 至



新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は公民館活動に、多くの皆様のご参加、ご協力を頂きありがとうございました。  
以前猛威を振った新型コロナ感染症も5類になり、コロナ禍前の様に公民館を利用できる様になりましたが、この間に活動を中止したクラブや講師の方々もみえ未だ以前ほどの賑わいには戻っていません。  
更に本年は北西部地区の公共施設の統廃合の問題もあり、その方針がぶれたこともあり混沌としています。令和6年中には整理され決定することと注目していきたいと思っております。  
そんな中ですがお正月には、児童たちとカルタ会を行ったり、2月にはクラブ・サークルの練習成果をお見せする公民館まつりの開催と事業が続きます。ぜひご来館され参加下さい。  
令和7年も職員と使い易く、又区の皆様や小学校などと共に、楽しい公民館を目指していきますので、皆様におかれましては健康に留意され、ご来館・御活躍されることを祈念しております。



### 公民館運営審議会委員

委員長	倉橋 勝良	総代	委員	尾崎 裕幸	区議員
副委員長	杉浦 啓太	副総代	委員	竹内 康浩	区議員
委員	奥村 那奈	西部小 校長	委員	鈴木 昌孝	区議員
委員	竹尾 公孝	西部小 教頭	委員	小林 可知	区議員
委員	中村 恵子	西部保 園長	委員	長田 安弘	区議員
委員	西 航平	消防団長	委員	岩切 孝幸	区議員
委員	尾崎 秀章	区議員	委員	杉浦 昭夫	ひじり会 会長
委員	尾崎 勝夫	区議員	委員	河井 善史	P T A 会長
委員	河井 友孝	区議員	委員	原田 知美	父母の会 会長
委員	山本 寛久	区議員	委員	岩月小百合	子供会会 長
委員	芦塚 巧	区議員	委員	岩瀬 重美	婦人部長

※ 以上が公民館運営審議会委員 8名と公民館運営審議会協力委員の皆さんです。

### 公民館管理運営委員

委員長	小林 至	公民 館長	スポーツ推進 委員	竹内 真紀	-
顧問	倉橋 勝良	総代	地区役員	神田 敏明	山本
顧問	杉浦 啓太	副総代	地区役員	大森 昭典	門前
主事	岩瀬 康	-	地区役員	永川 敏久	神東
書記	権田真由美	-	地区役員	鋤柄 透	上向山
監事	杉浦 恵子	-	地区役員	内藤純一郎	下向山
スポーツ推進 委員	太田 篤	-	地区役員	伊藤由美子	宮成

以上の委員で本年も公民館運営に当たりますので皆様の御協力をお願いします。

## 12月実績及び年度内事業計画

日程	事業名称	実績	備考
12/22(日)	公民館役員会(消火・通報・避難訓練)	済	
1/4(土)	新春百人一首大会		
2/2(日)	公民館まつり		
2/5(水)	すこやか講座(8) 料理教室		
2/16(日)	児童講座 楽しい子どもクッキング		
2/16(日)	児童講座 子どもニュースポーツ(モルック)		
3/8(土)	公民館運営審議会(3)		
3/15(土)	公民館役員引継ぎ会&消火・避難・通報訓練		

### 城跡花いっぱい活動

令和6年度の城跡花いっぱい活動が10月26日(土)に開催されました。

本年度も皆様に寄贈頂いた球根と保存研究会の取り組みで購入できた球根を合わせて参加者全員で植え付けました。



【持ち場毎に参加者が植えます】 【沢山の球根を並べてます】

本年は昨年と同様に本丸跡の一角でブルーシートで覆われていた区画の一部に植え付けました。水仙の花は寒咲きの日本水仙は12月から、原種系の水仙は3月～4月に花が咲きます。今回植え付けた球根がどの品種か不明の為開花時期が不明です。昨年は3月中旬までが水仙見ごろで、桜はまだ蕾だったと記憶しています。さていつ頃咲くでしょう。

### 六年生土塁を作ってみた

代々西部小六年生児童は地域のことを勉強する授業の一貫の中で、上ノ郷城、鶴殿氏のことに関して学んでいます。今年度の六年生も博物館の学芸員さんと上ノ郷城跡ツアーに行き、守りの堅い上ノ郷城の秘密について学びました。

そこで上ノ郷城跡に現存する土塁の貴重さに気付くことができました。ツアー後、子供たちから『土塁』ってどうやって造ったのだろうという疑問がでました。

学芸員さんに土塁ってどうやって造られたのかたずねると『土を積みか山を削って造るんだよ』と教えて頂きました。子ども達から『造ってみたい』と声が上がって『土塁づくり』が始まりました。

六年生児童13名で土のう袋150袋(1袋20kg)に土を詰め、積み重ねていき、延べ10時間ほどを費やし、完成させることができました。

土塁は校庭の南東隅に造られており二月末まで保存していますので皆さん見学に行ってみて下さい。



【制作中の様子】



【完成後の土塁を前で記念撮影】

## 大宮の一本松 (12月号からの続き)

おせい秋の陽だまりに、秋とんぼが、すきとおった羽を休めていました。二日前の、いやなことなどまったく無かったかのような静けさでした。

“願かけの松”の下では、どこから来たのか人相の悪い三人の男が、コン・カンと澄んだ音色で石を刻んでいました。あれ、これと、さしずをしている入れずみの男は、うでのいい石工のように思われました。

こうして、わき目もくれず、心をこめて働いている男たちのようすを見ていると、どうやら悪い人のようでもなさそうです。

はじめは、気味悪がっていた村人たちも、いつしか男たちを見なおすようになってきました。やさしい心の村人が運んでくれる、わずかばかりの食べ物で、男たちは、やっと命をつなぎながら石を刻み続けました。

石を刻み始めてから、三十日たちました。男たちは、すっかりやつれてしまって、ひげむじらな顔の中に、目玉だけが、ギョロリと光っていました。

それから三日たちました。三人の男たちは、どこへともなく、たち去って行ってしまいました。

しかし、“願かけの松”の根元にはできたばかりの石の仏さまが置かれてありました。

これを見つけた村人たちは、

「なんて、おやさしいお顔でしょう。まるで、お母さんのようだ。」  
「きっと、どんな願いごとでも聞きとどけてくださるにちがいない。」  
などと口ぐちに言いながら、よろこび合いました。



そんなことがあってから、数年の月日がたちました。

ある日、どこからともなく、一人の坊さんが“願かけの松”にやって来ました。長く、きびしい修行の旅のせいでありましょう。衣は破れ、すっかり日やけしたうでが、肩のあたりまでのぞいていました。ふしぎなことにその肩のあたりには、うすすらと入れずみのあとが残っていました。しかし、ひげむじらの顔の奥には、秋の空のように澄みきった眼が、やさしいほほえみをたたえていました。

旅の坊さんは、松の木の根元の苔のついた仏さまを、いとおしそうにじっと見つめていました。しばらくして、何度も深くうなずいた坊さんは、やがて、そこに草ぶきの小屋をたて、石の仏さまといっしょに暮らすようになりました。

### 公民館からのお知らせ

### 令和6年度西部公民館まつりを開催します

◇とき 令和7年2月2日(日) 午前10時～午後4時30分

◇ところ 西部公民館

(駐車場は公民館・若宮神社・

西部小運動場南側・西部保育園駐車場)

☆ 展示部門	(10:00～16:00)	無料
☆ ステージ部門	(12:15～16:30)	無料
☆ お茶席	(10:00～15:00)	有料
☆ 甘酒接待	(10:00～15:00)	無料
☆ ホールインワンゲーム	(10:00～11:30)	無料
☆ お楽しみ福引	(10:00～15:00)	チラシの券持参下さい

### 区からのお知らせ

毎年2月に開催の神ノ郷町追弔会は本年度以降廃止とし、赤日子神社における戦没者英霊祭を区と神社の共同開催とすることとなりました。